

政策カルテ

1. 政策の位置づけと目標

		主管課	高齢福祉課
政策の柱	I 市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	取組の基本方向	「高齢期の生活を充実する」ため、健康の維持や介護予防の推進による「高齢者の自立促進」、生涯にわたり社会の中で活躍できる機会の充実を図るための「高齢者の生きがいづくりの充実」、住み慣れた地域での自立した生活を支援するための「介護保険事業の充実」に、重点的に取り組みます。
政策名	2 高齢期の生活を充実する	政策目標	高齢者が自らの介護予防に積極的に取り組み、住み慣れた地域の中で生きがいをもって、充実した生活を送っています。

2. 政策を取り巻く環境と進捗状況

① 政策を取り巻く環境	国・県等の動向	国は、平成20年7月「認知症の医療と生活の質を高める緊急プロジェクト」を策定し、また、県においても平成21年3月「高齢者支援計画（はつらつプラン21）」を策定し、各種施策を推進している。	② 構成する施策に関する市民意識調査結果	<p>優先して力を入れていくことが求められる領域 見直し・効率化が求められる領域 今後も力を入れていくことが求められる領域 重点的な取組が一段落したと考えられる領域</p> <p>【凡例】 1. 高齢者自立促進 2. 生きがいづくり 3. 介護保険事業</p>	③ 政策の進捗状況	政策指標(単位)	H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	進捗状況(%)	
	外部意見その他	<p>今後、団塊の世代が高齢期を迎えるなど、高齢者がさらに増加することに伴い、利用を希望するサービスや参加したい活動などについて、高齢者のニーズも益々多様化することが見込まれる。</p> <p>・平成23年3月、「宇都宮市認知症高齢者等対策懇談会」から、対応すべき課題や取り組むべき施策・事業について取りまとめられた報告書が提出され、より一層の取組が求められた。</p> <p>・平成23年2月、福祉のまちづくり調査特別委員会において、「団塊・シニア世代（生きがいづくり等）対策について」の調査研究が行われ、セカンドライフ支援の一層の充実が求められた。</p>				指標① (総合計画に基づく指標)	高齢者が生きがいをもって元気に活動していると感じている市民の割合	33.1	28.2	31.8	32.4	47.0	68.9%	
					指標②									
					指標③									

3. 政策の評価

④ 現状と課題の分析	成果が見られる点	政策指標の進捗状況が前年度から0.6ポイント上昇し、また、各施策の指標の達成度が一定の高い数値を示しており、政策全体として着実に成果を上げている。	⑤ 今後の取組方針	総論	高齢化が進行するなか、健康で生きがいを持ち、安心して自立した生活を送ることができる社会を目指す。
	改善の必要な点	政策を構成する施策については、3施策ともに重要度は高いが、市民の満足度は十分とは言えない状況である。今後は、さらに利用者へのサービス向上を図るとともに、市単独扶助事業などをはじめとする各事業の内容等についても市民ニーズを踏まえ検討を行い、施策を展開する必要がある。		重点施策	高齢者が要介護状態等になることを予防し、いつまでも住み慣れた地域で生き生きと自立した生活を送ることができるよう、介護予防事業や認知症高齢者等対策などを推進することにより、高齢者の自立促進を図る。団塊世代を中心とするシニア世代の知識や経験を本市の進めるまちづくりや、地域福祉の展開に積極的に活かすとともに、第2の人生を健康でいきいきと暮らすことができるよう支援し、高齢者の生きがいづくりの充実を図る。介護を必要とする高齢者等が適正なサービスを受けられることができるよう、介護サービスの適正化を図りながら、介護保険事業の充実を図る。

4. 政策を構成する施策一覧

No.	施策名	施策の達成状況				施策の二次評価			市民の意識	
		施策の指標(上段:総合計画に基づく指標) (下段:その他の指標)	H19:基準	H22	H24:目標				進捗状況	満足度
1	高齢者の自立促進	要介護認定を受けていない高齢者の割合	85.1	84.9	90.1	94.2%	総論	高齢化が進行するなか、健康で生きがいを持ち、安心して自立した生活を送ることができる社会を目指すため、高齢者が要介護状態にならないよう支援する。	15.8%	78.1%
		-	-	-	-	-	重点事業	高齢者が要介護状態等になることを予防し、いつまでも住み慣れた地域で生き生きと自立した生活ができるよう介護予防に取り組む。認知症高齢者の増加が見込まれることから、昨年度に取りまとめた「宇都宮市の認知症高齢者等対策」の推進に積極的に取り組む。		
		-	-	-	-	-	見直し事業	市単独扶助事業において、他の事業との整合を図りながら、事業内容を検討する。		
2	高齢者の生きがいづくりの充実	みやシニア活動センター利用者数	-	875	580	150.9%	総論	高齢化が進行するなか、健康で生きがいを持ち、安心して自立した生活を送ることができる社会を目指す。	14.7%	72.4%
		-	-	-	-	-	重点事業	団塊世代を中心とするシニア世代の知識や経験を本市の進めるまちづくりや、地域福祉の展開に積極的に活かすとともに、第2の人生を健康でいきいきと暮らすことができるよう支援する。		
		-	-	-	-	-	見直し事業	市単独扶助事業において、市民ニーズを踏まえ事業内容を見直す。		
3	介護保険事業の充実	要介護認定者数のうち要介護4及び5の認定者の割合	23.4	24.9	23.4	94.0%	総論	高齢化が進行するなか、健康で生きがいを持ち、安心して自立した生活を送ることができる社会を目指すため、介護が必要な高齢者やその家族への支援に関する事業を推進する。	15.5%	79.4%
		-	-	-	-	-	重点事業	引き続き、介護を必要とする高齢者等が適正なサービスを受けられることができるよう、介護サービスの適正化を図りながら、介護保険事業の充実を図る。		
		-	-	-	-	-	見直し事業			